

# 2017年度スタート！！ どうぞよろしくお願い致します

仲嶺 真弓

新しい年度のスタートですが、季節はまだ肌寒い日もちらほら…。暖かい春の日差しを心待ちにしてのスタート。よろしくお願いいたします。

3月は、23名の子どもたちと保護者が巣立って行きました。卒園を祝う会で私はこんな言葉を送りました。

「子育てだけでも大変な就学前の保育園生活。大人も育ち合うことを大切にしているこの園で、職員とも日々いろいろなやり取りを重ねていただきました。そのやり取りの中で職員の私たちも育ててもらえたと感じています。ありがとうございました。

卒園を迎えるここ数か月も、他園とは一味違う保育や保護者との関りをしていることで、どんな意図があっていることなのかなどの問いかけをしてくれる保護者の方が何人かおられました。私は園長として担任や主任からそんな報告を聞くたびに、いつもありがたく思っています。そういう問いかけをしてもらえることが、職員にとって、今自分たちがしていることの意味を再度踏まえる機会でもあり、プラスできるものは何かを見つけるチャンスでもあると思うからです。

人は一人ひとり違うこと。考えや感じ方も違う。違っていてもあたりまえで、その違いを知ろうとしなければ、しんどさだけが残るか、もしくは自己満足で終わるだけだと私は思います。だからこそ保護者からの問いかけはとても大切で、違いを知ろうともがく職員の姿は、この園にとって何物にも代えられない宝だと思っています。そういうやり取りができる関係でいてくださり、本当にありがとうございました。

今年度は約半数のご家庭が、子どもたちと一緒にこのつばさ共同保育園を卒園されますが、卒園した子どもたちにとっても、大人にとっても、この場所はほっこりできる居場所…心のふるさとでありたいと職員一同、思っています。一人で抱え込んだら情けなくなることも吐き出したら何でもなかったと気付くことも多いです。子どもも大人もしんどいことを「しんどい」と言える場所です。だから、またいつでも来てください。待っています。」

この言葉は、これからつばさ共同保育園での生活が始まる27名の子どもたちと21家庭の保護者の方にも伝えたいことだと思ったのであえて巻頭ページに掲載させていただきます。さらにより良い保育園になっていけるよう、職員一同、保護者とともに日々何気ない会話を重ねながら共に学びあえる関係を築いていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

❀年度末、年度初め、家庭保育のご協力をしていただいた保護者の方ありがとうございました。

❀卒園児の保護者から時計2つをいただきました。

## 「つばさっ子」とは1ヶ月間の園での様子を知らせるお便りです

- ①子どもの世界を理解してもらう＝大人の感覚では理解不可能なことを子どもはやらかします。子ども理解が進めば誤った見方、過度な心配、不安が解消できると思います。
- ②子どもの発達の特徴を理解してもらう＝子どもにはその年齢の発達の特徴があります。それを理解すれば慌てることなく子どもに対応することができると思います。
- ③わが子理解、よその子理解をもらう＝わが子の特徴を知るとわが子との付き合い方がわかります。他人の子どもを知ることで偏見が克服できます。子どもは色々な影響を受けながら成長します。もちろん親の影響が大きいと思いますが、友達や保育士や周囲の大人の影響も大きいのです。子育てを親だけで抱え込むと確実にしんどくなります。特にわが子ながら手がやける、この子には疲れると感じている保護者の方は「みんなと一緒に育ててもらおう」と考えてみて下さい。子どもはみんな一人ひとり違います。だから保育士も対応に悩みます。職員と保護者は子育てのパートナーです。支え合って子育てしていきましょう。そのきっかけづくりのための『つばさっ子』です。大いに活用していただければと思います。